

つうしん
「うちどく」通信～2021.11～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



提出数/人数

1年 13/13 ☆GOOD☆

2年 18/18 ☆GOOD☆

3年 24/24 ☆GOOD☆

4年 16/17

5年 22/23

6年 19/20

全校 110/114



1年 T・R 『たまごにいちゃん』 Eア 読んだ人：お母さん 聞いた人：R

R：たまごがわれてよかったです。かっこいいとおもいました。

お母さん：たまごのからをつけたまま大きくなってしまったお兄ちゃんだったけど、石にぶつかり卵のからがわれてしまい本当のお兄ちゃんになったというお話でした。自分の手でからをこわしてくれたら親としてはうれしくもあり、甘えてくれないと寂しいですね。

1年 T・N 『しずくちゃん』 Eキ 読んだ人：N 聞いた人：お父さん・お母さん

N：みんなとかくれんぼをしていたのしそうと思いました。

お母さん・お母さん：一年生後半に入り借りてくる本も少しずつ変わってきたなと感じました。ページ数も増え、文字数も増えて。本をたくさん読んでほしいなと思います。

2年 M・K 『じゃがいもポテトくん』 Eハ 読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：さいしょはじゃがいもだったのにコロッケになったのがおもしろかったです。またよみたいと思いました。

お母さん：じゃがいもの親子がはなればなれになったけど最後はみんなに会えて良かったです。上手に読んでくれました。

2年 H・S 『おとまりおことわり』 Eへ 読んだ人：S 聞いた人：お母さん

S：くまさんがしっかりしていないとねむれないからなんでだろうと思いました。くまさんの家におとまりにきたねずみがうるさくてうるさくておもしろかったです。またよみたいです。

お母さん：完璧主義のくまさんとお友達のねずみの長い夜のお話でした。静かに寝たいくまクンと静かにしたいのにできないネズミくん。結構疲れてクマくんが先に寝てしまい大きないびきをかいても怒らないネズミくんのやさしさにほっこりしました。完璧な人ほど人に厳しくなりがちですが、自分自身は完璧ではないところは見えないものだと思います。自分では気づかない周りのやさしさもあるんだなあと思いました。

3年 M・N 『ちびちっち』 Eフ 読んだ人：N 聞いた人：お母さん

N：さいしょにあったときは、このちびちちいやだと言っていたのに最後にはちびちちをおばけから助けてあげるといふくらいちびちちとなかよくなっていたのでわたしもうれしいです。

お母さん：赤ちゃんがシモンが仲良くなったきっかけは赤ちゃんが何気なく言った「うんちちち」でした。赤ちゃんの言葉でシモンはお兄ちゃんになれました。

3年 N・H 『これが新型コロナウイルスだ』 Eオ 読んだ人：H 聞いた人：おばあちゃん

H：この本を読んで新型コロナウイルスはこんなにおそろしい病気なんだなとわかりました。だから今度から手洗いや消毒をこまめにしていねいにやろうと思いました。

おばあちゃん：世界中の人に恐れられている新型コロナウイルスの事をよく知るため本を読む事は大事だと思います。人から人へと簡単に移ってしまうので手洗いや消毒を丁寧にしておかないように、また人にうつさないように気をつけて生活しようと思いました。

4年 S・I 『ありがとうへんてこライオン』 Eチ 読んだ人：I 聞いた人：お母さん

I：いろんなところでへんてこライオンにあつておもしろかったです。ぼくもへんてこライオンに会ってみたいです。

お母さん：女の子と男の子が出会ったライオンが、いろいろなものにと変化します。唐突に変身するように感じるのですが、よく読むと子どもたちが求めているものに変化しているようでした。

4年 I・I 『バムとケロの日曜日』 Eシ 読んだ人：I 聞いた人：お母さん

I：屋根うらべやにいつて本をとったらががともっていたのでびっくりした。

お母さん：バムとケロの楽しい日曜日の様子がとても微笑ましかったです。久しぶりにドーナツが作ってみたいくなりました。来週一緒に作ろうねと話しました。

5年 M・K 『14ひきのもちつき』 Eイ 読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：14ひきがもちつきしているのがおもしろかったです。

お母さん：14ひきの餅つきの様子が楽しそうだと思います。可愛いねずみ達の様子に心あたりました。

5年 H・T 『おっとあぶない』 八女市立図書館 読んだ人：T 聞いた人：お兄さん

T：まぬけと名前をつけ紹介していく本でした。やけどやちっそくなどのまぬけがしがちなケガの仕方がいっぱい書いてありました。

お兄さん：様々なまぬけ達がやってはいけない事を教えてくれます。私が幼い頃この本で危ない事、やってはいけない事を知りました。弟がこの本に出てくるようなまぬけでないことを祈ります。

6年 M・Y 『かべのむこうに何がある？』 Eテ 読んだ人：Y 聞いた人：お母さん

Y：この本の「ゆうきがあればほんとうのものがみえる」というところが心に残りました。私も思い込みをせずにほんとうの事を知って自分の考えをもちたいと思いました。

お母さん：壁は自分の心の中にあるものだと思います。ねずみさんように「ほんとのことを知りたい」と思う好奇心と勇気もてたらすてきななと思いました。

6年 T・S 『ちきゅうがうんちだらけにならないわけ』 Eマ

読んだ人：S 聞いた人：お兄さん

S：うんちがどこでどのようにかつようされていたかがわかりました。

お兄さん：人間には汚いと言われて嫌われているうんちも他の動物や虫、植物に役立っているのだなあとわかりました。人間だってうんちの状態健康状態を把握しているじゃありませんか。うんちというのはいらないもの、食べものからありとあらゆる栄養を吸い尽くした後のかすだそう。そのかすですら上記の様に虫や動植物に役だっているのだから、この世にいらぬものはないんじゃないかと思うのです。